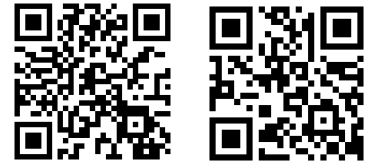


地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第228号



2025年10月31日発行

ホームページ メール

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

☎090-1837-5347 〒239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



うわまち病院労組 地域医療振興協会内の組合と

ピースフェスティバル、市役所前で開催！

10/12(日)、第40回のピースフェスティバルが開催されました。三笠公園が工事中のため、市役所前公園での開催となりましたが、展示のスペースは減ったものの、人通りは多く、盛況でした。

今回、「トマホーク」について市の中立性に触れるとして、市長の鶴の

ひと声で市の後援が得られず、新聞にも取り上げられませんでした。

平和委員会はビール、原水協は恒例のモツ煮に加え、アジの唐揚げを販売し、大好評でした。

今年は天候にも恵まれ、来年以降の開催も目途がつき、ほっとしました。

横須賀市の2つの市立病院を運営する地域医療振興協会内には、6つの医労連加盟組合があります。いままで協会内組合の交流は、活動の活発な3つの組合(横須賀・伊東・福岡)持ち回りで開催されてきましたが、日本医労連の財政危機により、zoomでの会議開催になりました。

うわまち病院では、過去3年にさかのぼって、1分単位での残業代が支払われましたが、他の病院では、さかのぼり方に違いがありました。また、福岡の飯塚市立病院では、春闘で2時間の指名ストを決行したところ、ボーナスが10万もカットされ、見せしめではないかと、批判が広がっています。最近、愛媛の西代医療介護労組が、市直営から指定管理になり、医労連に加盟して10/28の会議から参加しています。

10/28の会議では、5つの組合が参加して、12/8の団交に向けて、要求内容を確認しあいました。うわまち病院からは、加藤委員長が参加し、要求項目を整理して、効率的な交渉を、と意見しました。

労働学校第3回に、19名参加！

10/11(土)、労働学校第3回は、「女性史研究の視点で学ぶジェンダー問題」、講師は伊集院葉子氏(事務局長の学生時代の同志)。古代日本では、女性が政治に大きな役割を果たしていたこと、そして近代に明治憲法のもとで女性の権利が剥奪されたことなどを訴えました。「バイアスや意図的な考えで日本の古代史がジェンダー的にゆがめられたというのが、大変な驚きです。」との感想が寄せられました。先生は、祖父母が横須賀にいた夫とともに、交流会に参加してくれました。

